

事業進捗状況評価表に対する意見質問等

○ 事業進捗状況評価表1

ページ数	番号	意見質問等	委員名	担当課	担当課コメント
-	-	市外幼稚園利用者の増加は、選択肢の中から主体的に市外を選ぶ場合だけではなく、市内幼稚園を希望しても入園が叶わないケースも多々あるのではないかと思います。定員数増加のニーズも多いと思われるので、認定こども園の新設や既存の幼稚園、保育施設の子ども園への移行など、現在の進捗状況をご教示いただけたらと思います。	古源	保育課	認定こども園の新設や既存の幼稚園の新制度への移行について、個別に相談を受けるケースはありますが、現在具体的に進捗している案件はありません。
-	-	量の見込みと確保の内容欄中、必要利用定員総数の箇所に、幼児期の学校教育の利用希望が強いとありますが、こちらは唐突感があります。この数はどこから出たのでしょうか。	北脇	保育課	「幼児期の学校教育の利用希望が強い」の欄に記載している人数は、認定こども園(幼稚園部分)及び新制度幼稚園利用者の人数となります。 なお、「幼児期の学校教育の利用希望が強い」については、子ども子育て支援事業計画において、子ども・子育て支援法等に基づく保育の必要性等の認定を行い、その結果、1号認定(幼児期の学校教育(教育認定))を受け、認定こども園(幼稚園部分)または新制度幼稚園を利用している人数を記載する欄の説明として、第1期計画の時からこのような形で記載しております。

○ 事業進捗状況評価表2

ページ数	番号	意見質問等	委員名	担当課	担当課コメント
2	3	放課後子ども教室事業 コロナ禍で対応が難しくなっている中でも、工夫し開催されている学校がほとんどだと聞いています。こんな時だからこそ、子ども達の居場所を1つでも多く確保することは大変意義のあることだと思います。 しかし残念ながら、こちらの開催は地域差が大きいようです。例えば一番児童が多い三小は開催できていないと聞きます。この差を埋める必要があると思いますが、今後の対策などありますで	北脇	生涯学習課	放課後子ども教室の実施については、各学校の放課後子ども教室推進委員会が学校と相談しながら決めております。三小は児童数が多いため、慎重に判断しているところです。新型コロナウイルス感染症の状況によりますが、現在9月から実施する予定です。また、三小の推進委員会では、三小以外の施設での実施についても現在検討しております。
2	3	新・放課後子ども総合プランに基づく両事業の連携について コロナ禍でも6校開催できたのは素晴らしいと思います。またできなかった3校については1日でも早く開催できるようにお願いしたいです。	北脇	児童青少年課 生涯学習課	今年度は、実施できるよう連携していきたいと思っております(児童青少年課)。 今年度の協議会は、昨年できなかった3校から実施したいと考えております(生涯学習課)。
3	5	こんにちは赤ちゃん事業 実績数でなく訪問率表記の方が良いと思います。	北脇	健康課	訪問率は「進捗状況の説明」欄に記載しております。毎年「計画数」は実績数で目標設定されているため当面変更は不可となりますが、次期計画作成時に検討いたします。

○ 事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

ページ数	番号	意見質問等	委員名	担当課	担当課コメント
1	1-1 1	子どもオンブズパーソン 子どものための権利救済窓口なので、当事者である子どもに理解され、必要なときに思い出し躊躇なく利用してもらえるような場所であればならない、また勇気を振り絞ってアクセスしてきた子どもをがっかりさせてはならない、ということ子ども目線で考えていきたいと思っております。	古源	児童青少年課	子どもの権利部会でも、御意見同様の視点から御審議いただき、感謝申し上げます。担当課としても、子ども自身に認知され、受け入れられる機関としていきたいと思っております。
1	1-1 2	虐待対応事業 関係機関とありますが、どちらの機関でしょうか。虐待と言っても色々あると思います。具体例を子どもに知らせることで「もしかしたら自分はここに当てはまる、私も声を上げていいんだ」と気づける事も大事だと思います。子ども向けに伝え、次へ繋げることも防止の1つとしてご検討頂きたい。子どもにフードドライブや子ども食堂の案内もしていただきたいです。	北脇	子育て支援課	子どもを虐待から守るため、地域の関係機関と連携し、要保護児童等の早期発見や適切な支援につなげるためのネットワーク「要保護児童対策地域協議会」に所属する機関を関係機関と記しています。事業内容に記載のある機関以外では、保育所・幼稚園・小学校中学校・教育委員会・地域福祉課・自立生活支援課・保健所等があります。子ども自身への普及啓発等については課題と考えており、今後、教育機関等との連携の中で検討していきたいと思っております。また、必要に応じて、各支援施策はご案内するようにはしていますが、今後も周知していきたいと思っております。

2	2-3 2	児童館事業 閉館中に子ども向け動画の配信や保護者への相談窓口開設など、子どもや家庭が孤立しないよう、コロナ禍でも出来ることを模索して下さったことはとても良かったと思います。	古源	児童青少年課	児童館長期閉館中の対応ですが、学校も休校となり、ステイホームを続ける子どもやその保護者の不安払拭、気分転換の一助になればと、児童館職員を中心に自宅で取り組めるものをと検討し、合計26本の動画配信と、参加型レクリエーションを3種実施しました。
2	2-3 2	児童館事業 課題として場所の拡充を入れて欲しいです。現在中学校区に1つの児童館ですが、小学生は学区を超えると遠くて通えないのが現状です。	北脇	児童青少年課	児童館事業単体として見た時の課題としては、自宅からの距離の面で、平日の利用が難しい学年がいることは認識しており、試行として閉館時間を30分から1時間延長するなどの工夫も行っていきます。しかしながら場所の拡充については、現在子どもの居場所部会で検討がなされているように、施設種類ごとの整備ではなく、様々な様態の居場所を組み合わせながら、子どもの居場所づくりについて検討していきたいと考えています。
4	3-2 1	母子保健健康相談事業 前回なかった電話でのフォローができることになったのは、工夫されて良いと思います。	北脇	健康課	引き続き実施していきたいと思っています。
4	3-2 11	産後ケア事業 安心して子育てをする為にも、行政の情報だけでなく地域資源の知識を深め紹介をして頂きたいです。例えばケア者が自ら行政以外の情報集も行いパンフレット・チラシを渡すなど、ご検討ください。	北脇	健康課	協議体の中で御意見を共有し、検討いたします。
7	6-1 1	子育て支援ネットワーク 子育て支援ネットワーク事業の令和2年度結果に要保護児童対策地域協議会についての記述がありますが、要対協の役割は地域の子育てネットワークという括りではないのではないのでしょうか。1-1の2 虐待対応事業や、1-2の1 虐待防止啓発事業に整理される事業なのでは。	古源	子育て支援課	御指摘のとおり、要保護児童対策地域協議会については、虐待対応事業の一環でありますため、削除させていただきます。

○ 事業進捗状況評価表3(重点事業以外)

ページ数	番号	意見質問等	委員名	担当課	担当課コメント
1	1-1 3	スクールカウンセラーの配置 H30実績数に比べて増加しているため「予定通りに進んだ」ということだと思うのですが、件数が大きく増加しているものもあるため、想定内の増加であったのか、増加したことに対する課題、検討内容はないのかが気になりました。	萬羽	指導室	令和2年度から東京都のスクールカウンセラーを1人増員したことにより、学校における相談体制の充実を図ったところです。そのため、相談件数の増については想定していた範囲であると考えています。
1	1-1 4	スクールソーシャルワーカーの派遣 H30実績数に比べて増加しているため「予定通りに進んだ」ということだと思うのですが、件数が大きく増加しているものもあるため、想定内の増加であったのか、増加したことに対する課題、検討内容はないのかが気になりました。	萬羽	指導室	令和2年度からスクールソーシャルワーカーを2人増員したことにより、相談体制の充実を図ったところです。そのため、相談件数の増については想定していた範囲であると考えています。
1	1-1 5	教育相談事業 H30実績数に比べて増加しているため「予定通りに進んだ」ということだと思うのですが、件数が大きく増加しているものもあるため、想定内の増加であったのか、増加したことに対する課題、検討内容はないのかが気になりました。	萬羽	指導室	近年、教育相談所の相談件数は増加しているところですので、令和2年度の相談件数の増加については、想定内の範囲であると考えています。ただし、市立小中学校の不登校児童生徒の増加や、特別支援教育の推進により発達に関する相談が今後も増えていくことが見込まれる中で、相談体制の見直しが必要になると考えています。
1	1-1 6	子ども(子育て総合)相談 H30実績数に比べて増加しているため「予定通りに進んだ」ということだと思うのですが、件数が大きく増加しているものもあるため、想定内の増加であったのか、増加したことに対する課題、検討内容はないのかが気になりました。	萬羽	子育て支援課	お見込みのとおり、相談件数が増加したため、予定通りとしました。相談件数の増減については見込み数を立てているものではないため、想定はしておりません。家庭からの相談をきっかけに子どもの声を直接聞くように努めています。課題としては、子ども自身の発達特性や親子関係・夫婦関係・経済的な問題等複雑な相談も多いため、他機関と連携し適切な支援につないでいきたいと思っています。
2	1-2 2	いじめ等の対策システム コロナ禍での「対面以外の方法」やコロナ禍での対応について、もう少し具体的に記述したり方法を工夫できないかと思いました。	萬羽	地域福祉課	コロナ禍における見守り活動等については、基本的なことではあるが、手指消毒マスクの着用を徹底すること及び児童生徒との接触をできる限りしないよう活動しています。

14	3-2 7	栄養個別相談・栄養集団指導 コロナ対策としての「講義とデモと一部体験で実施」はどのような意味(内容)なのか理解しにくいように思いました。	萬羽	健康課	栄養集団指導については、今まで講義、調理、試食又は講義、試食の流れだったが、試食はマスクをはずさざるを得ないことから施設上好ましくないとの判断により、講義時間の短縮、料理のデモンストレーション、色や香りなど出来栄を見ていただくこととしました。
14	3-2 8	子どもへの食育の推進 コロナ対策としての「講義とデモと一部体験で実施」はどのような意味(内容)なのか理解しにくいように思いました。	萬羽	健康課	離乳食教室では、今まで講義、デモンストレーション、試食の流れだったが、試食はマスクをはずさざるを得ないことから施設上好ましくないとの判断により、講義時間の短縮、料理のデモンストレーション、色や香りのほかに実際に触れてみて固さの確認などを見ていただくこととしました。
18	3-4 2	再就職の支援 コロナ禍での「対面以外の方法」やコロナ禍での対応について、もう少し具体的に記述したり方法を工夫できないかと思いました。	萬羽	経済課	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、全面接会を予約制に、一部を2部制にした。共催団体の東京しごとセンター多摩やハローワークが、地域に出向いて地域の企業と住民のマッチングを図るという趣旨であることや、利用者から対面を希望する声があるため、感染対策を徹底した上、対面での実施としています。
24	5-1 1	適応指導教室運営事業(もくせい教室) 入所人数が平成30年度40名から令和2年度51名と増加しています。今後も利用者が増加することも想定されると思いますが、もくせい教室の定員(あるいは適正数)を教えてください。	古源	指導室	現状、利用する児童・生徒の通う頻度・時間帯等にかなりのばらつきがあり、教室に一度に大人数集まるような事態になることが少ないため、定員等は定めておりません。委員がおっしゃるとおり、市立小中学校の不登校児童生徒数が増加している状況もあり、今後ももくせい教室に通室する児童生徒は増加する傾向と見込んでいます。御質問いただいている定員(適正数)ですが、児童生徒がもくせい教室に通室する時間が異なっていることなどもありますので、一概に何人までが定員と決めていくのは難しいと考えています。一つの基準として、コロナ禍における活動となりますので、3密を回避することができる状況を確認できる体制かと考えています。
26	5-3 3	幹線道路の整備 こちら約50年前の計画で今の子どものために必要な道路なのかは疑問です。子どもの為には、むしろ道路を作らないで豊かな生態系を残して欲しい。一度壊した生態系は元に戻りません。のびゆくに入れる必要があるのでしょうか。	北脇	都市計画課	地域に用の無い通過交通の生活道路や通学路への車の進入が多くなっていることから、子どもがのびのびと遊び、子どもを連れた大人が安心して出歩くことができるように、歩道空間や道路の整備を行います。